



学びの質を高める

長野県総合教育センター通信

し の の め

2019/04/16
(平成31年04月号)
第120号

〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

TEL (0263)53-8802 FAX (0263)51-1290 E-mail : kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

目次

所長挨拶	1
総合教育センター所員紹介	2
総合教育センター研修事業の重点	3
Web「学びの広場」の活用!	4

所長挨拶

三つの力を育む

長野県総合教育センター 所長 飯島 由美

2020年度からの小学校を最初に全面実施される新しい学習指導要領には、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力など」「学びに向かう力、人間性など」の三つの力をバランスよく児童生徒に育むことが掲げられています。しかし、この三つの力が身についているのか、教える立場にあったわが身を省みると少々心もとない思いがします。三つのうち、特に後者二つの力は学校教育とその他の諸々の経験の中で自ずと培われてきたものであり、それと意識して学んだものではなかったため、確かに身につけていると言い切ることができないのです。

現在教壇に立っている皆さんはどうでしょうか。これらの三つの力がしっかり身についているという実感をお持ちでしょうか。身につけているとしたら、その力はどのようにして育まれたものでしょうか。ご自分の経験を見直してみると、これらの三つの力を子供たちにより良く育む手がかりが見えるのではないかと思います。

例えば、普段の生活の具体的なものと結びついたときに初めて、机上で学んだことばや理論の本当の意味が分かったという経験が誰にもあると思います。誰でも知っているこの感覚が、三つの力を「バランスよく」育むというときには役に立ちます。また、この感覚の積み重ねが「分かること」「できること」の面白さにつながるものだと思います。

新しい年度の初めに当たり、三つの力をより良く育むために、まずは、自らの学びの過程を捉え返すところから始めてみてはいかがでしょうか。

所 長

次 長



飯島 由美



池田 隆義

長野県総合教育センター

TEL: (0263) 53-8800(代)

FAX: (0263) 51-1290

e-mail: webmaster@edu-ctr.pref.nagano.jp

総務部

(0263)53-8800(代)

部長(兼)
池田 隆義

総務係長
山崎 敏夫
(予算)

主査
中山 照基
(施設管理)

主任
岡沢 勉
(会計、給与)

主事
上條 浩明
(施設管理)

主事
小林 亜実
(会計、服務)

行政嘱託職員
高木 朗
(施設管理)

純非常勤職員
石田 多美子
(庶務)

企画調査部

(0263)53-8802



主幹指導主事兼部長
酒井 賢一

専門主事
菅原 崇
(企画調整)

専門主事
田中 健
(研修講座)

専門主事
塩原 慎一
(研究調査)



教科教育部

(0263)53-8803

部長(兼)
酒井 賢一

主任指導主事
登内 淳
(算数、特活)

専門主事
油井 幸樹
(学力向上、特活、総合)

専門主事
小林 洋一
(国語)

専門主事
柳澤 大介
(社会)

専門主事
田中 聡
(数学)

専門主事
鈴木 崇晃
(生物、生活)

専門主事
関 健一郎
(物理)

専門主事
小林 孝次
(化学)

専門主事
中川 慶彦
(地学)

専門主事
波場 智美
(音楽)

専門主事
志摩 宏道
(図工、美術)

専門主事
安松 大介
(技術)

専門主事
小口 博子
(家庭)

専門主事
牛山 真弓
(英語、道徳)

専門主事
藤田 洋子
(英語)

ALT
Jonathan
Edwards

教職教育部

(0263)53-8804



主幹指導主事兼部長
加藤 和夫

主任指導主事
藤澤 雅道
(高校管理職研)

専門主事
佐々木 俊秀
(高校研修担当)

専門主事
向井 真弓
(高校経年研)

専門主事
白鳥 隼人
(高校初任研)

専門主事
宮下 正史
(義務管理職研)

専門主事
岡田 泰輔
(義務初任研)

教育指導専門員
大井 基成

教育指導専門員
赤羽 聡

生徒指導・特別支援教育部

生徒指導(0263)53-8833 特別支援(0263)53-8805



主幹指導主事兼部長
臼井 伸明

専門主事
市村 宣幸
(生徒指導)

専門主事
染川 あゆみ
(生徒指導)

専門主事
小林 里恵子
(特別支援)

専門主事
山岸 俊朗
(特別支援)

研修派遣教員
松崎 一

研修派遣教員
平井 勝矩

研修派遣教員
三原 正純

教育指導専門員
百瀬 嘉久

教育指導専門員
丸山 智之

情報・産業教育部

(0263)53-8806, 8807



主幹指導主事兼部長
松原 均

専門主事
垂澤 和憲
(農業)

専門主事
小池 作治
(工業)

専門主事
酒井 寛朗
(工業)

専門主事
齋藤 美幸
(商業)

専門主事
高橋 幸久
(商業、家庭、福祉)

情報・産業支援員
井刈 瑞恵
(教育情報)

研修派遣教員
柳澤 瑞樹
(農業)

研修派遣教員
小林 邦之
(工業)

教育指導専門員
小池 良彦

平成 31 年度 長野県総合教育センター 研修事業の重点

子どもの深い学びにつなぐ、教員の
キャリアステージに応じた指定研修

- ・長野県教員育成指標に基づき、自らの資質・能力の向上につなぐ研修
- ・教員相互の協働性を高め、考えを広げ深める研修

受講された先生のOUTPUTをサポートし、
講座での学びを活用へつなぐ教職員研修会支援

- ・講座受講者が講師となる研修会の準備・運営を専門主事が支援する、教職員研修会サポート

平成 31 年度
長野県総合教育センター 研修事業の重点

「主体的・対話的で深い学び」の視点で
研修講座の質を高める



学びの質を高める

児童生徒の資質・能力の育成に向け、教師力・授業力の向上を図る希望研修

- ・学校力の向上を目指す研修講座群の充実
視学官、教科調査官、学力調査官から注目動向や最新情報を知る講座
- ◎ 郷土、信州から学び、継承する「信州体験」講座
- ◎ ICT 現代的な諸課題への対応につなぐ ICT 活用講座
- ・主体的・対話的で深い学びの実現にむけた授業等のあり方を学ぶ教科等教育研修
- ・児童生徒理解と生徒指導上の諸課題への実践力向上を目指した生徒指導研修
- ・一人一人がもてる力を発揮できるインクルーシブな教育を目指した特別支援教育研修
- ・ICT を活用した教育手法を学び、授業力の向上を目指した情報教育研修
- ・産業社会の進展に対応した知識・技術を学び、実践的な教育を目指した産業教育研修

Web「学びの広場」の活用!

～児童・生徒の学習に役立つ様々な問題を

ダウンロードできるWebページです～



長野県総合教育センター

Webページにある「学びの広場」の昨年度の総アクセス数は 32,000 件をこえました。問題数、内容ともにたいへん充実してきており、使いやすいと全県の学校や先生方からの声があり、子ども達に広く活用されている現状です。

今年度も、子ども達の学力向上のために「学びの広場」を是非ご活用ください。

長野県総合教育センターWebページからのダウンロード方法

- (1) センターのWebページを開きます。
- (2) **教育情報** にカーソルをあわせてクリックすると、下のページに移ります。
- (3) 利用したいコンテンツをクリックします。

〒399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4
0263-53-8800 (代表)

powered by YAMAGUCHI

サイト内検索

磨かん共に

「教育情報」をクリック!!



利用したいコンテンツをクリック

ダウンロードできる問題

クリア・チャレンジ問題・・・427枚

- ・知識・技能の定着が確認できるクリア問題
- ・知識・技能を活用するチャレンジ問題
(国：小5～6、中2、算・数：小4～中3、理：小5、中2、英：中2～3)

レビュー問題・・・327枚

- ・小単元ごとに定着状況が確認できる問題
(算・数：小1～中3)

休みの課題帳・・・18冊

- ・年末年始・春休み用、思考する問題を充実
(国・理：小5、中2、算・数：小4～中2)

P調査・C調査問題・・・8年分

- ・P・C調査の過去問題、1教科20分程度
(国：小5、中2 算・数：小4、5中1、2)
(英：中2)

ファイナルチェック問題・・・3年分

- ・学年の学習定着状況が確認できる問題
(国・算・数・理：小5、中2)

オリジナル問題・・・23問(算・数)

- ・先生方の自作問題を募集して掲載

◇クリア・チャレンジ問題

自校の学力の状況を捉えるために、「結果入力シート」をお送りください!

クリア・チャレンジ問題は、結果を提出していただいた学校に、全県データとの比較分析シートを作成して送付しています。



積極的な活用を！

～クリア・チャレンジ問題と結果入力シート～

長野県総合教育センター

クリア・チャレンジ問題は長野県総合教育センターのWebページからアクセスできます！



「クリア・チャレンジ問題」をクリック!!



チャレンジ問題にはP・C調査で課題がみられた問題や類題を盛り込んでいます。ご活用ください！

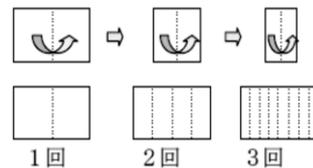
授業で学習する内容を月ごとに分け、問題を作成しています。授業の進度に合わせて活用していただけます。

クリア問題は基礎・基本的な内容に関する問題、チャレンジ問題は活用力に関する問題となっています。

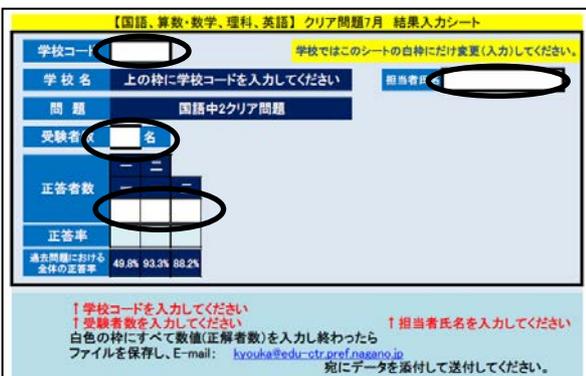
単元末の定着問題として、あるいは家庭学習の課題としても利用できます。

【4】 長方形の紙を右の図のように2つに折り、それをまた2つに折り、さらに2つに折ります。長方形を4回折って広げると、折り目で分けられた長方形の数はいくつになるでしょう。

折った回数(回)	1	2	3	4
長方形の数(個)	2	4		



クリア問題に盛り込まれたP調査問題の例 (小5算数:P調査正答率 32.0%)



結果集計シート: 中2国語クリア問題 (○の部分を入力してメールでセンターへ)

「結果入力シート」を活用して、結果集計にご協力ください！

左のようなシートの4カ所に入力をし、メールにてセンターに送っていただきますと、全県平均と比較できるシートが返信されます。多くの学校に参加いただくと、データの信頼性がより高まります。結果集計にご協力ください。



「結果入力シート」の送付先メールアドレスは次のとおりです。ふるってご参加を！

<E-mail> kyouka@edu-ctr.pref.nagano.jp